



tv asahi

テレビ朝日ホールディングス

第80期 中間報告書

2019年4月1日 ▶ 2019年9月30日



▶ 株主の皆様へ

株主の皆様におかれましては、平素より格別のご高配を賜り厚く御礼申しあげます。ここに第80期の中間報告書をお届けいたします。

当中間期におきましても、当社は引き続きコンテンツ力の強化に力を注ぎました。地上波放送のタイムテーブル改革を進めた結果、全日帯(6:00~24:00)・ゴールデン帯(19:00~22:00)・プライム帯(19:00~23:00)、全ての時間区分の平均視聴率で2位を獲得いたしました。ゴールデン帯・プライム帯は前年同期を上回ったことに加え、全日帯は全26週中11週でトップを獲得し、コンテンツラインアップの競争力を着実に伸ばすことができました。

その一方で、テレビ広告市況全体の急激な冷え込みの影響を受け、当社のタイム収入は前年同期比△5.5%、スポット収入に至っては前年同期比△7.1%と大きく落ち込み、テレビ放送事業は大幅な減収減益となりました。音楽出版事業の伸長、インターネット事業をはじめとしたその他事業の好調、迅速なコストコントロール策により、連結業績全体では営業減益幅を最小限に抑える努力をいたしました。通期での利益予想は、期初の計画のまま据え置いております。テレビ広告市況は厳しい状況が続くと予想されますが、少しでも当社の業績を押し上げられるよう、全社を挙げて日々業績改善策を講じております。

株主の皆様にもご理解いただいているとおり、テレビ局を取り巻く経営環境は今激変しております。2019年にはインターネット広告費がテレビ広告費を超える見込みで、そのなかで動画広告市場が大きく伸びています。また、今年から来年にかけて、アメリカの大手メディアコングロマリットなどが定額型動画配信サービスに本格参入する予定で、インターネットで動画を見る視聴傾向はより一層加速し、配信事業者間の競争もさらに激化することが予想されます。NHKがインターネット上で放送の常時同時配信を来年早々にも始めることを検討しており、民放テレビ局の戦略にも少なからず影響することが予想されます。

当社はこれまで経営計画「テレビ朝日360°2017-2020」のもと、「新しい時代のテレビ局」への進化を目指し、コンテンツ力の強化、コンテンツの360°展開(他

メディア展開)、収益源の多様化を徹底的に進めてまいりました。(株)サイバーエージェントと共同で始めたインターネットテレビ局・AbemaTVは1,000万WAU(ウィークリー・アクティブ・ユーザー)を突破する週が出るなど着実に成長しています。インターネット動画広告市場が急成長するなかで、当社も自前で動画広告を配信できる技術基盤を持つ必要があると考え、Supershipホールディングス(株)などとともに合弁会社・UltraImpressionを5月に設立しました。このように現計画下で当社は一定の成果をあげております。

しかし、上記のような激動の2020年代において当社が確実に勝ち残るためには、現計画の基本理念は堅持しつつも、進化のプロセスを一層加速させる必要があると考えております。このため、当社では来年4月からスタートする新たな経営計画の検討に着手しました。「新しい時代のテレビ局」として最適な組織体制の改革も聖域を設けず検討・実行してまいります。

株主の皆様におかれましては、今後も引き続き変わらぬご支援を賜りますようお願い申し上げます。

2019年12月



代表取締役会長・CEO

早河洋

テレビ朝日グループに 新会社『UltraImpression』設立！

テレビ局が主体となって動画広告配信プラットフォームを構築・運用！

テレビを取り巻く環境が大きく変わるなか、テレビ朝日は視聴者やアドバイザーのニーズに的確にお応えし、新たなビジネスモデルや収益構造を持った「新しい時代のテレビ局」への進化を目指しています。

近年、動画コンテンツの流通路が多様化しており、それに伴いインターネット広告に占める動画広告の割合が拡大する傾向にあります。そこで、インターネット広告市場においてもテレビ朝日のプレゼンスを高め、動画広告市場のシェアを自ら獲得していく必要があると考えています。

こうしたなかで、2019年5月にテレビ朝日は国内では初となる「テレビ局主体の動画広告配信プラットフォーム」を構築・運用する会社「UltraImpression」を設立いたしました。

UltraImpressionは、テレビ朝日が増ったノウハウに基づき、プレミアムかつブランドセーフティ^{※1}が担保されたコンテンツを配信媒体として、多彩で高精度なデータを活用したプログラマティックな広告配信^{※2}を行う会社です。

今後、高速大容量通信を可能にする5G(第5世代移動通信システム)の普及を見据え、インターネット動画広告市場に積極的に参入し、動画広告の価値をより一層高め、動画市場の未来を創っていきます。

※1 公序良俗に反するコンテンツや、著作権侵害などの不正を行うコンテンツへ広告が掲載されてしまうのを防ぎ、ブランド毀損につながるリスクを回避する取り組み

※2 広告主と広告媒体があらかじめ決定した条件に従って、インターネット広告枠を自動的に買い付ける仕組み



株式会社UltraImpression
代表取締役社長 棚田壽典

▶ 広告配信イメージ図



インプレッションの向こう側へ。

～感動、驚き、これまでにない価値を～

今後の展開にご期待ください！

▶ 連結業績ハイライト

番組や映画など開局60周年記念コンテンツが好結果に！ また、インターネット事業も引き続き好調に推移しました。

ゴールデン・プライム帯では4月改編でスタートしたバラエティー番組、連続ドラマなどが高視聴率となった他、全日帯では報道情報ベルト番組が民放トップレベルで推移。また、開局60周年記念番組も好結果となるなど、2019年度の視聴率は、全日・ゴールデン・プライムの全区分でいずれも2位となりました。また、音楽出版事業やインターネット事業、出資映画事業が好調に推移しました。しかし、厳しい状況にあるテレビ広告市況の影響等により、迅速なコストコントロール等を行ったものの、連結決算における売上高は1,454億円(前年同期比△1.7%)、営業利益は52億円(同△7.1%)、経常利益は73億円(同+2.7%)、親会社株主に帰属する四半期純利益は45億円(同△7.7%)となりました。

	2017年度		2018年度		2019年度	
	第2四半期	通期	第2四半期	通期	第2四半期	通期(予想)
売上高 (億円)	1,500	3,025	1,478	3,017	1,454	2,970
営業利益 (億円)	84	186	56	161	52	130
経常利益 (億円)	97	220	71	190	73	150
親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益 (億円)	65	158	49	128	45	100
総資産 (億円)	4,329	4,354	4,510	4,520	4,513	—
純資産 (億円)	3,342	3,401	3,542	3,537	3,570	—
営業活動によるキャッシュ・フロー (億円)	96	181	67	202	116	—
投資活動によるキャッシュ・フロー (億円)	△18	41	△30	△212	△78	—
財務活動によるキャッシュ・フロー (億円)	△33	△65	△42	△74	△37	—
1株当たり配当金 (円)	中間20	期末30/通期50	中間20	期末30/通期50	中間20	期末20/通期40
配当性向 (%)	—	33.8	—	41.6	—	42.9

▶ 売上高(億円)



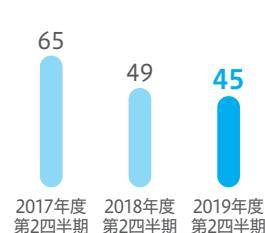
▶ 営業利益(億円)



▶ 経常利益(億円)



▶ 親会社株主に帰属する 四半期純利益(億円)



ホームページの
ご案内



テレビ朝日 IR

検索

<https://www.tv-asahi.co.jp/contents/IR/index.html>

当社IRサイトでは、決算短信、有価証券報告書、決算説明会資料など、株主・投資家の皆様のための情報をご覧いただけます。

▶ 事業別活動報告

事業別売上高、営業利益はセグメント間取引調整前のものです。



テレビ放送事業

▶ 売上高(億円)

▶ 営業利益(億円)



開局60周年記念コンテンツ



不朽の名作を圧倒的なスケール感で映像化！
5夜連続ドラマスペシャル「山崎豊子 白い巨塔」
2019年5月22日～26日放送



3日目の「女子フリー」では14.6%の高視聴率を記録！
「世界フィギュアスケート国別対抗戦2019」
2019年4月11日～14日放送

2019年度上期の平均視聴率は、全日(6時～24時)7.4%、ゴールデン(19時～22時)10.3%、プライム(19時～23時)10.5%となり、全ての区分で2位となりました。

ゴールデン・プライム帯では、4月改編でスタートした「10万円のできるかな」(上期平均11.8%)をはじめ、「ナニコレ珍百景」(上期平均12.7%)、「帰れマンデー見っけ隊!!」(上期平均11.5%)などの月曜・日曜のバラエティー番組が好調に推移した他、連続ドラマでは、木曜ドラマ「緊急取調室」(平均13.2%)、「特捜9」(平均13.0%)、「刑事7人」(平均11.7%)などが民放上位の成績となりました。さらに、開局60周年記念番組と

して放送された5夜連続ドラマスペシャル「山崎豊子 白い巨塔」(5日間平均13.3%)、「世界フィギュアスケート国別対抗戦2019」(4日間平均12.5%)も好結果となりました。

また、全日帯では、「グッド！モーニング」(7時台の上期平均10.1%)が自己最高を更新し、「羽鳥慎一モーニングショー」(上期平均9.3%)とともに民放トップの成績を獲得するなど、報道情報ベルト番組が引き続き高い水準を維持しました。

なお、テレビ広告市況におきましては、東京地区のスポット広告の出稿量が前年同期を下回るなど、引き続き厳しい状況となりました。

▶ 事業別活動報告

タイム収入は、アドバイザーの宣伝活動において柔軟性と効率性を重視する動きから、引き続き固定費削減傾向がみられ、レギュラー番組のセールスでは減収となりました。単発番組につきましては、開局60周年記念番組である5夜連続ドラマスペシャル「山崎豊子 白い巨塔」「世界水泳韓国・光州2019」「世界フィギュアスケート国別対抗戦2019」などがあったものの、前年同期の「2018FIFAワールドカップロシア」などの反動減により、減収となりました。

スポット収入は、東京地区の広告出稿量が前年同期を下回ったことなどから減収となりました。業種別で



4月改編でスタートした
パラエティーも好評!
「10万円のできるかな」
月曜よる8時から放送



7時台が自己最高を更新!
民放トップレベルで推移
「グッド! モーニング」
月～金曜あさ4時55分から放送

は、「金融・保険」「官公庁・団体」などが好調な一方で、「交通・レジャー」「飲料・嗜好品」「化粧品・トイレットリー」などは減収となりました。



音楽出版事業

▶ 売上高(億円)

▶ 営業利益(億円)



テレビ朝日ミュージック所属のアーティスト「ケツメイシ」が全国各地でコンサートツアーを展開したことなどにより、増収増益となりました。



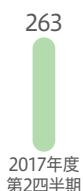
ケツメイシ
「KTM TOUR 2019 荒野をさすう4人のガンマン」



その他事業



売上高(億円)



営業利益(億円)



インターネット事業、ショッピング事業および出資映画事業が好調に推移したことなどから、増収増益となりました。

- **インターネット事業** 動画配信プラットフォーム向けのコンテンツ提供や「テレ朝キャッチアップ」などが引き続き好調な結果となったことから、増収となりました。
- **ショッピング事業** 通販番組「じゅん散歩」が好調を維持したことなどから、増収となりました。
- **出資映画事業** 開局60周年記念「劇場版おっさんずラブ～LOVE or DEAD～」が高い興行成績となったことなどから、増収となりました。

- **イベント事業** 7月13日より44日間にわたって開催された6回目となる「テレビ朝日・六本木ヒルズ夏祭り SUMMER STATION」は、今回もAR・VRなどの最先端技術を取り入れたアトラクションや、「EX THEATER ROPPONGI」および「六本木ヒルズアリーナ」でのイベント公演が人気となったことなどから引き続き延べ500万人を超える来場者を記録し、夏恒例の大型イベントとして好評を博しました。

開局60周年記念コンテンツ



興行収入25億円突破の大ヒットを記録！
11月からは地上波で連続ドラマ第2弾も放送
「劇場版おっさんずラブ～LOVE or DEAD～」

©2019「劇場版おっさんずラブ」製作委員会

「テレビ朝日・六本木ヒルズ夏祭り SUMMER STATION」



ドラえもんARアトラクション「恐竜大冒険」

©藤子プロ・小学館・テレビ朝日・シンエイ・ADK 2020

今回も来場者が延べ500万人を超え、夏恒例の大型イベントとして定着！



会社情報 / 株式情報 (2019年9月30日現在)

▶ 会社の概要

商号 株式会社 テレビ朝日ホールディングス
(TV Asahi Holdings Corporation)
設立 1957年11月1日
資本金 366億5,430万円
本店所在地 〒106-8001 東京都港区六本木六丁目9番1号
事業内容 株式等の保有を通じて企業グループの統括・運営等をおこなう認定放送持株会社

▶ 役員

代表取締役会長・CEO	早河 洋	取締役	浜島 聡
代表取締役社長・COO	吉田 慎一	取締役	板橋 順二
取締役副社長	角南 源五	取締役	西 新
専務取締役	藤ノ木 正哉	取締役	岡田 剛
取締役	亀山 慶二	取締役	沖中 進
取締役	武田 徹	取締役	渡辺 雅隆
取締役	川口 忠久	取締役(監査等委員)	数内 宜尚
取締役	両角 晃一	取締役(監査等委員)	池田 克彦
取締役	篠塚 浩	取締役(監査等委員)	弦間 明
取締役	香山 敬三		

(注) 岡田 剛、沖中 進、渡辺雅隆、池田克彦および弦間 明の各氏は、社外取締役であります。

株主様向け「テレビショッピング販売商品」特別優待価格でのご提供のご案内

テレビ朝日グループで通販事業を担当する(株)ロッキングライフの商品の中から、株主様を対象に、厳選いたしました商品を特別優待価格でご提供しております。

同封のパンフレットに記載の専用ホームページもご覧いただき、ご希望の商品がございましたら、パンフレットおよび専用ホームページに記載の「通話料無料 ご注文専用番号」にお電話ください。

※ホームページでは、パンフレット掲載商品の内容をさらに詳しくご紹介しております。

ホームページの商品説明を印刷して、お手許にお送りすることもできますので、下記「通話料無料 お問合せ専用番号」にお気軽にお電話ください。

お問合せ先

株式会社テレビ朝日ホールディングス 株主様ご優待

通話料無料
お問合せ
専用番号

0120-532-510

10時～18時 ※日曜・祝日・12/30～1/4は除く

▶ 株式状況

発行可能株式総数	発行済株式の総数	株主数
300,000,000株	108,529,000株	20,370名

▶ 大株主(上位10名)

株主名	持株数(株)	持株比率(%)
株式会社朝日新聞社	26,651,840	24.80
東映株式会社	16,670,400	15.51
公益財団法人香雪美術館	5,030,000	4.68
みずほ信託銀行株式会社 退職給付信託 大日本印刷口再信託受託者 資産管理サービス信託銀行株式会社	4,030,000	3.75
九州朝日放送株式会社	3,333,500	3.10
SSBTC CLIENT OMNIBUS ACCOUNT	2,479,640	2.31
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	2,332,500	2.17
公益財団法人朝日新聞文化財団	2,297,100	2.14
株式会社リクルートホールディングス	2,100,000	1.95
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	1,786,100	1.66

(注) 持株比率は、自己株式(1,056,023株)を控除して計算しております。

▶ 株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月開催
基準日	定時株主総会 毎年3月31日
	期末配当 毎年3月31日 中間配当 毎年9月30日
	そのほか必要があるときは、あらかじめ公告して定めた日
株主名簿管理人および特別口座の口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
株主名簿管理人事務取扱場所	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
(郵便物送付先)(電話照会先)	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 ☎0120-782-031
(ホームページURL)	https://www.smtb.jp/personal/agency/index.html
公告の方法	当社のホームページに掲載いたします。 https://www.tv-asahihd.co.jp/ ただし、ホームページに掲載できない事故その他のやむを得ない事由が生じたときは、東京都において発行する朝日新聞に掲載いたします。
上場取引所	東京証券取引所
外国人等の株主名簿への記載または記録の制限	当社の定款には次の規定があります。 定款第10条 本会社は、次の各号のいずれかに掲げる者から、その氏名および住所等を株主名簿に記載または記録することの請求を受けた場合において、その請求に応ずることにより、次の各号に掲げる者の有する議決権の総数が、総株主の議決権の5分の1以上を占めることになるときは、その氏名および住所等を株主名簿に記載または記録することを拒むものとする。 1. 日本の国籍を有しない人 2. 外国政府またはその代表者 3. 外国の法人または団体 4. 上記1.ないし3.の各号に掲げる者により直接に占められる議決権の割合が総務省令で定める割合以上である法人または団体 ②本会社は、法令の定めに従い、前項各号に掲げる者が有する株式について、株主名簿への記載もしくは記録の制限または議決権の制限を行うことができるものとする。



〒106-8001 東京都港区六本木6-9-1
電話 (03)6406-1115 URL <https://www.tv-asahihd.co.jp/>